

（承上）協力のニルを實現させる具体案は新執行委員會に於て立案することを可決確定す。
規約に關する大會委員會の報告

規約に改正を要するハトシテハ、執行委員會の事務的連絡を合理化し、一層敏捷にして
鐵削ある次第なる行動をするために、規約の改正を以て、執行委員の数を減少し、製鋼五
名、セメント三名、坑夫組合三名、その他各組合と夫々名を割り当て、計十一名、この外
に會長、主事、會計各一名合計並查三名合計計十四名を以て、新執行部を構成
する。（承認確定）

一 予算決算に關する大會委員會の報告

予算は前年度の倍を踏襲し、決算は大會委員の精進による着目下依りて違算と
きを認め、（承認確定）

一 宣言の發表

（別紙）草案を大會委員會は異議を呈し、採択し、徳田大會委員の宣言朗讀は満場の拍手
を以て可決確定す。）

一 役員銓衡に關する大會委員會の報告

森岡民三

會長 伊藤卯四郎

主事 久保時造

會計 帆足勇

會計並查 南伊佐男、園田岩太郎

執行委員 徳田吉松、岡田英三、広渡源三、村松勝、宇土政夫（又製鋼

労働）白木清三、山本権市、越智克己（又上セメント労働）宮崎太郎

山本戸初太郎（以上坑夫組合）内野福太郎（石油労働）崎野秀丸

（小倉仰仕組合）小池禮三（下関運輸）田中定吉（長崎印刷）外に並查

労働組合より推薦される一名を加える。

常任書記 関村光夫 潮下新七郎 清水道夫

（又上と熱烈なる拍手を以て承認確定）

一 新役員代表挨拶

會長 伊藤卯四郎

（明年度の積極的關争に對する新役員の悲壯なる決意と、これに熱烈なる挨拶あり）

一 閉會（伊藤會長の演説、日本労働總同盟九州聯合會の萬歳を三唱して散會）

又上